

寄贈品コーナー

# 武田辰平氏撮影キノコ写真展

2002年  
期間 11月30日～1月5日

平塚市博物館には、多数のキノコ類の標本や写真が収蔵されています。これは、30年にわたって活動を続けている「神奈川キノコの会」の協力によるものです。キノコの会では、10年ほど春から秋まで毎月平塚市内で調査の機会を設け、採集されたキノコを標本として寄贈してくださっています。その点数は、約1000種類、5000点弱にのぼっており、1997年には目録も刊行されています。近年では、真空凍結乾燥機を利用した原型をとどめた標本作りにも取り組まれています。標本は、

研究機関からの閲覧を求められることもあり、今までにつくばの森林総合研究所や、滋賀大学などに貸し出しを行いました。

また、キノコの会を通じて、全国のキノコ同好会や愛好者とのパイプもできてきています。今回、写真を展示する武田辰平氏もその一人で、新潟県にお住まいの方です。長年とりためた写真を、多くの人に利用してもらいたいという趣旨でお預け頂きました。



タマゴタケ（武田辰平氏撮影）